

第7回国頭村長杯中学生野球大会 感染症予防対策ガイドライン

【競技参加者（大会への全参加者への対応）】

1、参加者が以下の体調管理チェックリストに記載されている項目で症状に該当する場合には、大会への参加は自主的に見合わせる。協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることをチーム内に周知すること。

体調管理チェックリスト

- (1) 発熱の症状がある方(37.5度以上)
- (2) 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状がある方
- (3) 頭痛がある方
- (4) だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)などの症状がある方
- (5) 嗅覚や味覚に異常を感じる方

2、競技に関する当日の対応

- ①人との距離を2メートル確保する。ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。
- ②練習および試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ③競技中のマスク着用については、試合に出場している選手以外は全員がマスクを着用することを推奨する(監督、コーチも含む)ただし、熱中症予防に配慮すること。
- ④肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。
- ⑤ゴミは各自持ち帰ること。
- ⑥今大会は有客試合とし、人数制限を設けない。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況次第では、人数制限を設ける場合もある。
- ⑦ベンチ消毒は試合を終えたチームで責任をもって行う。

3、運営側の対応

- ・手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること。
- ・更衣室は利用させないこと。
- ・換気扉は常に回し、換気用の小窓を開けるなど、換気に配慮すること。
- ・練習場所および試合会場には、消毒液などを設置すること。
- ・大会開催の際は、試合間のインターバルを通常より長く設定し、選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する工夫をすること。
- ・選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮すること。
- ・発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚を感じない者の参加を認めない。また、保健所に濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航がある場合は参加を認めない。ただし、PCR検査による陰性証明ができる場合その限りではない。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は大会会場に入る際、マスク着用を推奨する。
- ・食事の際は、密集を避け間隔をとる等感染防止に努める。
- ・違うチームとの接触は行わない。

- ・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ・大声での応援、会話を控えること。
- ・屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・大会前に選手及びスタッフの感染が判明し、保健所が指定する解除日が大会期日より後になる場合、その選手及びスタッフは大会の参加を見合わせることにする。
- ・大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する必要があることを周知すること。
- ・大会運営中に選手・チーム関係者・役員・審判員等が発熱等の体調不良を訴えた場合、体調不良者及びその関係者・チーム等は速やかに帰宅させることにする。